



1_「各自治体が協力し合い、地域づくりを進めていこう」とあいさつする佐藤町長 2_コメントを添えた写真入りの手作り名刺を交換し合った児童たち



5月13日は「高い山の日」 新緑の白鷹山夏山開き

「高い山の日」の5月13日、恒例の「白鷹山夏山開き(白鷹虚空蔵尊祭礼)」が白鷹山頂で行われました。

白鷹山をともに境とする山形市、上山市、南陽市、山辺町、そして白鷹町の皆さんが山頂に集い、登山道整備や自然保護などについて意見交換を行ったり、登山者の安全などを祈願。また、町出身の力士・白鷹山(はくようざん) 関からは、「白鷹山の雄大な山容を胸に刻んでこれからも精進する。どうぞ力強く見守ってほしい」と祝電が届きました。

続いて、去年は雨の影響により中止となった「しらたか山ヤングサミット2018」が行われ、荒砥小学校と作谷沢小学校(山辺町)、荻小学校(南陽市)の児童らが手作りの名刺を交換し合い、交流を深めました。



講師の話を真剣な眼差しで聞きながら自然に触れた児童たち

いつまでも、身近にある自然を大切に—— 東根小学校「緑の少年団」結団式

5月22日、「緑の少年団」結団式が東根小学校学校林の宝山で行われました。

今年度は、同小学校の4年生31人が新たに入団。トレードマークである緑の帽子とネッカチーフ、そして団員の証であるワッペンが授与されました。その後、シンガーソングライターの金田稔さん(広野)とともに「リメンバー宝山」を合唱。続いて、森林インストラクターと県森林整備課の職員を講師に迎えた自然体験活動が行われ、団員たちは視覚や聴覚など五感を研ぎ澄ましなが、身近にある自然を観察しました。



大粒のイチゴにパクリとかぶりつく園児たち

甘酸っぱさに笑顔はじける！ 町内園児がイチゴ狩り体験

どりのむ農園直売所では、今年も町内の全保育園及びこども園の園児をハウスに招待し、イチゴ狩り体験が行われました。

5月24日には、ひがしね保育園の園児51人が参加。ハウスの中では、大粒で赤く色づいたイチゴ「もういっこ」が一面に実っており、園児たちは大はしゃぎで次々とイチゴの実をもぎ取りました。口の中いっぱい広がる甘酸っぱさに笑顔がはじけた園児たち。指先や口の周りを赤く染めながら、「お腹いっぱい食べたよ」と大満足でした。

町内小中学校で進む紅花栽培 若菜を間引いて給食で味わう

5月25日、白鷹中学校の1年生94人が、4月に種をまいた紅花の若菜の間引き作業を行いました。

この紅花栽培学習は、町が生産量日本一を誇る紅花について理解と関心を深め、郷土愛を育むことをねらいとして今年度から始まったもの。若菜と若菜の間が5cmほどの間隔になるよう、協力しながら約1時間かけて間引き作業を行った生徒たちは、「思ったより大変だったけど、畑がとてもきれいになって気持ちいい」と笑顔で汗をぬぐいました。若菜は町内の各小学校で収穫されたものと合わせて調理場で調理され、28日の給食で児童生徒が味わいました。



1_20cmほどの高さまで伸びた紅花の若菜を黙々と間引いた生徒たち 2_給食で味わった紅花の若菜入りのスープ



神秘的な景色が広がる空間で—— 三ツ滝不動尊祭礼

5月27日、眼病平穏、火盗消除、養蚕安全、交通安全の守護「三ツ滝不動尊」祭礼が現地で行われ、町内外から約60人が参拝に訪れました。

この日は天候にも恵まれ、参拝者は心地よい風を感じながら滝を目指し、新緑の木々の間を縫うように整備された道を歩きました。美しい木々に囲まれ、しぶきをあげる滝は神秘的で、その光景に思わず息をのむ参拝者。今年も地域の皆さんに用意していただいた山菜の冷や汁や、滝の冷水を利用した流しそうめんで一息つき、あらためて滝に秘められたパワーで心と体を癒していきました。



新緑の木々の間から姿を現す神秘的な滝

優しさと笑顔をいつまでも—— 第27回おかえりなさいコンサート

第27回目を迎えた「おかえりなさいコンサート」が5月20日、蚕桑地区コミュニティセンターで開催されました。

このコンサートは、出演者とボランティアスタッフによる手作りの福祉コンサートで、今年も白鷹陽光学園やこぶし一座など、町内外から全7組が出演。優しい歌声や演奏、コミカルな寸劇などが披露されると、場内は盛大な拍手と笑顔で包まれました。そして最後には、コンサートのテーマソング「笑顔の君が好きだから」を出演者とスタッフ全員で歌い上げ、優しさあふれるフィナーレとなりました。



会場は優しさと笑顔あふれる空間となった